

# くまがや 市議会だより

Kumagaya City Council Newsletter

6月定例会  
平成20年8月1日発行

第12号

問い合わせ 熊谷市議会事務局 〒360-8601 埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1 ☎048-524-1111(内線412~416)  
E-mail gikaijimukyoku@city.kumagaya.lg.jp http://www.city.kumagaya.lg.jp/shigikai/



## 冷ませ！熊谷 JR熊谷駅に冷却ミスト装置を設置

昨年8月16日に観測史上わが国の最高気温を記録した本市では、ヒートアイランド対策の一環として、本年度、熊谷駅にある3カ所の駅広場に冷却ミスト装置を設置しました。気温27℃以上などの一定条件で自動運転を行い、噴霧エリアの空間を2～3℃下げる効果があります。

### 主な内容

- ☆6月定例会の概要・・・2
- ☆一般質問(要旨)・・・3～7
- ☆可決された主な議案・・・8
- ☆請願の審査結果・・・8
- ☆関係機関に意見書を提出・・・8
- ☆委員会での主な質疑・・・8

議会を傍聴しましょう。次の定例会は9月3日からの予定です。

熊谷市議会は「チーム・マイナス6%」に登録し温暖化防止に取り組んでいます。





副議長  
松本 貢市郎議員



議長  
泉 二良議員

# 6月 定例会

議長に泉 二良議員

副議長に松本 貢市郎議員を選出

六月市議会定例会は、六月四日から六月二十三日までの二十日間を会期として開かれました。

この議会では、「特別市の指定に係る申出について」などの市長提出議案三十三件を審査し、二十一件を原案可決、八件を承認、四件に同意しました。また、特別委員会を設置する議員提出議案三件と、委員会提出議案一件を原案可決したほか、市民の方から提出された請願一件を審査しました。

さらに、六月四日に正副議長の選挙を行い、新しい正副議長を選出しました。

## 正副議長を選出

六月四日、松本議長の辞職に伴い、議長選挙を行いました。また、磯崎副議長の辞職に伴い副議長選挙も行い、新しい正副議長を選出しました。選挙の結果は、次のとおりです。

### ◇議長選挙

投票総数 三五票

泉 二良・・・三十票

林 真佐子・・・四票

無効・・・一票

この結果、泉 二良議員が議長に当選しました。

### ◇副議長選挙

投票総数 三五票

松本貢市郎・・・三十票

高橋 初・・・四票

杉田 芳雄・・・一票

この結果、松本貢市郎議員が副議長に当選しました。

## 監査委員の選任に同意

六月四日、議会選出の監査委員に松浦紀一議員を選任したい旨の議案が市長から提出され、同意しました。

## 特別委員会を設置

六月二十三日、次の三つの特別委員会が設置され、それぞれ正副委員長の互選を行いました。

### 行財政改革特別委員会

◎松本 富男 ○富岡 信吾

杉田 茂実 桜井くるみ

大山美智子 田島 道夫

松岡 兵衛 加賀崎千秋

谷 幸代 新井 昭安

新井 清次

### ヒートアイランド対策特別委員会

◎新井 正夫 ○黒澤三千夫

大嶋 和浩 吉原 邦陽

常見 勝 森 新一

杉田 芳雄 磯崎 修  
林 真佐子 並木 正一

## 地域活性化対策特別委員会

◎笠原 秀雄 ○須永 宣延

山田 忠之 松浦 紀一

三浦 和一 加藤 恒男

新井 宏 小林 甚一

滝沢 肇 大久保照夫

栗原 健昇 高橋 初

(◎委員長 ○副委員長)

## 総務文教常任委員会

正副委員長を互選

六月九日、総務文教常任委員会において、大久保照夫議員を委員長に、杉田茂実議員を副委員長に互選しました。

## 農業委員会委員を推薦

六月四日、議会が推薦する農業委員会委員として、山田忠之議員、杉田芳雄議員、新井宏議員を推薦しました。

## 議会運営委員を選任

議会閉会中の四月二十二日、議会運営委員に谷幸代議員を選任しました。

## 六月定例会の概要

初日(六月四日)の本会議では、市長から「本格的な夏の到来が間近となり、いよいよ『あついで!熊谷』の本番

を迎えることとなる。今年はリーディングプロジェクトとして開始した『あついで!熊谷流』関連の二十三事業がそれぞれ効果を上げ、夏に開催される埼玉総体と相まって本市を昨年以上に全国発信する絶好の機会ととらえている。」旨が述べられました。

九日の本会議では、議案等に対する質疑が行われました。そして各議案及び請願が、所管の委員会に付託されました。十日には、総務文教常任委員会および福祉環境常任委員会において、また、十一日には、市民産業常任委員会および都市建設常任委員会において、付託された議案等についてそれぞれ審査が行われました。

十六日、十七日、十八日の三日間は、二十二人の議員による市政に関する一般質問を行いました。

最終日(二十三日)の本会議では、各委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案をすべて原案どおり可決しました。また、議員提出議案および委員会提出議案を原案どおり可決したほか、市長提出議案の人事案件に同意し、六月定例会は閉会しました。





# 市政、**ごまご**が知りたい!

## 一般質問 (要旨)

6月定例会では、次の22人の議員により、市政に関する一般質問が行われました。数多くの質問の中から、1人につき1項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。なお、答弁文末の( )内は、主な所管課です。

### 合併浄化槽清掃業者の区域指定問題について

三浦 和一 議員

#### 問

①浄化槽の清掃管理業者の区域を指定するようになった経緯②区域指定が行われている六業者の一般的な清掃料③業者をある程度自由に選べるようにした場合のメリットとデメリットについて、それぞれ伺いたい。

#### 答

①一定の業者が責任をもって定期的に各家庭の浄化槽を清掃できるよう昭和六十三年から区域割を設けている。②立米単位の平均で税込み一万二千百十円である。③メリットとしては競争原理の反映、デメリットとしては清掃業者を頻繁に変えることによる定期清掃の時期の遅れ等の懸念があげられる。家庭から出る生活排水を浄化し、市内の河川や水路の水質汚濁を防止するため、年一回の定期清掃がほぼ定着している現在の区域指定のメリットを生かしていきたい。

#### ○その他の質問項目

「後期高齢者医療制度の実施に伴い廃止となったサービスの継続について」ほか

### 小・中学校の一般教室に冷房設備を

常見 勝 議員

#### 問

本市の小・中学校には壁掛け式の扇風機が設置されている。しかしながら、昨年の夏、日中の気温が日本一を記録したこと、さらなる暑さ対策が必要と思われる。そこで、リース契約等により教室に冷房設備を設置できないか。

#### 答

小・中学校の全普通教室は約六百教室あるため、全普通教室へのエアコン設置には、約十三億八千万円の費用が見込まれる。リース契約により教室に設置する方法もあるが、その場合、概算で年間約三億円が見込まれる。学校施設については、耐震化を最優先して整備を進めており、また、壁掛け式扇風機を設置したところでもあるので、全教室への冷房設備の設置は現在難しい状況にある。しかしながら、壁面緑化や樹木の植栽等により、環境に配慮して涼をとる方法など各学校において工夫して対応していきたい。

#### (教育総務課)

### 熊谷市交通安全都市宣言の本市における取組について

黒澤 三千夫 議員

#### 問

①飲酒運転撲滅に向けた本市の取り組みは②公共交通機関の充実に向け幅広い分野の関係者により検討を行う考えはないか③次世代交通システムを含めた交通計画策定の考えはないか、それぞれ伺いたい。

#### 答

①熊谷警察署や関係団体等と連携を取りながら、飲酒運転根絶に向けた啓発活動の充実に努めていく。②交通関係団体が熊谷警察署の傘下に多数あるので、定期的な意見交換の場の設置に向け働きかけを行っていきたい。③近年、少子高齢社会の進行やCO2削減を柱とした環境対策などから、公共交通の重要性はますます増加している。こうした中、本市の交通網を、将来を見すえて総合的、体系的に位置付ける交通計画の策定は重要な課題であると認識している。

#### ○その他の質問項目

「安心安全課」 「エコキヤップ推進活動について」

### 学校の耐震化について

大久保 照 夫 議員

#### 問

①耐力度調査と耐震診断の基準は②こうした調査、診断の対象となる義務教育施設数③耐震補強した数④耐震工事により、どの程度の地震に耐えられるのか⑤大里中学校の耐震化工事の内容と耐用年数は、それぞれ伺いたい。

#### 答

①耐力度調査は改築の場合に、耐震診断は耐震補強の場合に行われる。また、校舎は耐震補強を中心に、屋内運動場は基本的に改築で対応している。②校舎の耐震診断はすでに終了しており、耐力度調査が必要な旧耐震基準の屋内運動場は二十三校である。③昨年度までで校舎が四十校である。④震度六強から七の強い地震に対しても倒壊せず、人命を保護することを目標に設定されている。⑤鉄骨ブレースの増設等を行う予定で、建築から六十年が処分制限期間となっている。

#### ○その他の質問項目

(教育総務課) 「壁面緑化事業について」

### 地球の温暖化と市の取組は

森 新一 議員

#### 問

①温室効果ガス低減のための市の施策は②植物の光合成作用により温室効果ガスを低減するため、植栽等緑を確保していく考えは③気温上昇に有効な手段とされる休耕水田の湛水化について、それぞれ伺いたい。



#### 答

①これまで、住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助、新設の小学校屋内運動場への太陽光発電システム設置、全小学校への太陽光発電照明灯の設置、ごみの減量化対策等に取り組んできた。本年度は、本市の特性を生かした地球温暖化対策地域推進計画の策定を予定している。②学校や公民館などの公共施設における壁面緑化等を実施するとともに、本年度は「熊谷百年の森づくり事業」を計画していると承知である。③休耕水田に水を張

る「調整水田」の増加が図られるよう誘導していきたい。(環境政策課)

○その他の質問項目

「本市農業の振興政策について」ほか

### 市立女子高等学校校後の跡地の有効活用について

新井 清次 議員

#### 問

①市立女子高等学校校後の跡地利用申込の状況②跡地利用の交通手段として道路整備計画はあるか③立正大学との協議が打ち切りになった理由④跡地利用の将来計画は、それぞれ伺いたい。

#### 答

①私立高校や学校法人数校から問い合わせがあったが具体的な協議には至っていない。②市街地の渋滞対策として、(仮称)熊谷西環状線が提案されており、跡地の利便性も高まるものと考えられる。早期事業化を目指し、関係機関と調整を図っていく。③公設民営というコンセプトで提案を受けたが、公設では市民の理解を得られないと判断し、協議を打ち切った。④私立高校の誘致を第一に取り組んでおり、公益的施設等の施設利用計画は検討していない。(政策調査課)

### 教育施設整備について

松岡 兵衛 議員

#### 問

中条小学校屋内運動場の改築時期はいつ頃になるのか。校地拡張が無理なら現在の校地内で建て替えができないか、それぞれ伺いたい。



中条小学校の屋内運動場

#### 答

同小学校の屋内運動場は、市内で一番古く老朽化が進んでいることは承知している。これまで校地拡張を前提に長期にわたり用地交渉を行ってきたが、理解が得られず先の見通しがつかないことから、これ以上改築を遅らせることはできないと考え、検討を行ってきた。こうした中、本年五月に現在の校地を有効利用した改築を希望する旨の

三千二百七十一人にもおよぶ陳情書が提出された。この地元の総意を重く受け止め、今年度のできるだけ早い時期に事業に着手したい。(教育総務課)

○その他の質問項目

「利根川新橋について」

### 小・中学校二学期制の現状と課題について 第二弾

山田 忠之 議員

#### 問

①二学期制の実施により増加したのか②新しい通知票を保護者にどう説明し、理解を得るのか③アンケート調査を行うなど見直しをする考えは④現場や保護者の声に耳を傾けて理解を求める取り組みは、それぞれ伺いたい。

#### 答

①例として、昨年度から実施した江南三校では二十二時間程度増加した。②より分かりやすくするため数値による評定も入れ、絶対評価だけでなく、集団中の位置付けがわかる相対評価も取り入れている。③平成十九年度に全校実施したばかりであり、アンケートは予定していないが、新しい学習指導要領の完全実施後の調査について、研究していきたい。④

いろいろな声を伺っているが、二学期制を実施することで、各学校が保護者、地域と一体となって「知・徳・体のバランスのとれた学力向上」に、取り組んでいきたい。(学校教育課)

○その他の質問項目

「市税の滞納状況と今後の取組について」

### 本市「農業立市宣言」に向けての農業振興地域整備計画の進捗状況について その四

杉田 茂実 議員

#### 問

食の安心安全の原点となる農業の活性化に向け、本整備計画の実態調査を実施するに当たり、①調査の目的および実施方法②調査により地域ごとの独自性を明確化できる可能性があるのか、それぞれ伺いたい。

#### 答

①この調査の目的は、本市農業の総合的な評価と地域農業振興上の諸課題を明らかにすることであり、民間の専門知識、調査技術を活用するため、専門業者に調査業務委託を行う予定である。具体的には、JA正組合員約八千人への経営実態把握アンケート、専業・兼業の各農家三十戸およびJA、量販店等に対するヒアリングを実施す



定である。また、地産地消推進協議会からも意見を聴いていく。②地域ごとの実態の把握が可能になり、それらの分析・評価を行うことで地域農業の独自性が明らかになると考えている。

(農業振興課)

○その他の質問項目

「『熊谷市財務情報』の具体的活用方法について」

**小・中学校の校舎・体育館及び公  
共施設の耐震工事の促進について**

高橋 初 議員

**問**

中国の四川大地震では、小・中学校が崩壊して多数の子供が死傷した。こうした中、わが国においては、校舎や体育館等、学校施設の耐震工事の促進を図る法律が成立した。そこで、①遅れている耐震工事、耐震補強にとどまらず、校舎や体育館などの改築を進めるべきではないか②防災拠点の消防署、消防本部の耐震化と保育所や公民館等、避難所となる公共施設の耐震化の促進について、それぞれ伺いたい。

**答**

①今後数年ですべての校舎の耐震補強工事が完了する見込みである。屋内運動場については、旧耐震基

準で建築されたものの建築年や老朽化の程度、財政状況を勘案し、耐震化の推進に努めていく。②耐震診断の必要がある消防四庁舎のうち、中央消防署が移転予定であり、残り三庁舎については、耐震改修促進計画に基づき検討していく。また、その他の公共施設の耐震化の対策についても本計画の中で推進していく。

(教育総務課)

○その他の質問項目

「防犯灯の設置・管理について」

**人の集まる場所に  
洋式トイレの設置を**

大山 美智子 議員

**問**

本庁舎の一階には洋式トイレが一つあるが、待合室から少し離れており、人の動線上でないことも重なり使いづらい状況になっている。一日当たり千五百人近い来庁者の中には、高齢者やひざの悪い方も多いと思われる。そこで、待合室付近にある市民課脇のトイレに洋式便座を設置できないか。

**答**

男性用トイレは、スペースの都合上、洋式便座の増設が困難であるため、多目的トイレまたは東側トイ

レを使用したき、女性用トイレについては、二カ所のうち一カ所を洋式便座に改修することを検討していく。今後、案内表示等を工夫し、利用しやすいトイレにしていきたい。

(庶務課)

○その他の質問項目

「高齢者及び障害者住宅整備資金貸付制度について」



本庁舎市民課脇のトイレ

**環境基本計画に沿って  
(悪臭の防止について)**

桜井 くるみ 議員

**問**

吉岡地域では、鶏舎からの悪臭が問題になっている。快適な生活環境の確保のためこの問題の解決が求められているが、①いつ頃から苦情があつたのか②悪臭の現状と対策および今後の方向について、それぞれ伺いたい。

**答**

①本件に関する苦情は平成七年三月頃から寄せられていた。②埼玉県熊谷市畜産保健衛生所と連携し、発生源となる事業者に対し技術的指導等を行ってきた。事業者は、平成十四年度に脱臭装置を設置したが、十分な効果が得られず現在も苦情が寄せられている。本年一月には、本市が実施した悪臭測定で規制基準を超過していたため改善指導を行った。その結果、事業者においてアンモニアを低減させる悪臭防止対策を行っているところである。今後は、この効果に注目しながら経過観察を行っていく。

(環境政策課)

○その他の質問項目

「学童クラブの充実を」

**後期高齢者  
医療制度について**

林 真佐子 議員

**問**

これまで国保加入者には、指定された宿であれば一泊で三千元、人間ドックには三万円の補助があつたが、後期高齢者医療制度が始まり、七十五歳以上の高齢者には、これらの補助が打ち切られた。復活を希望する声があるが、どう考えるのか。

**答**

本市では、本年度から長寿医療健診を無料で実施している。さらに希望者には各種がん検診も無料で実施しており、こうした事業の実施を通じて、高齢者の健康づくりを支援していきたいと考えている。市としての人間ドック等の助成については、国の動向等を見極めながら、内容・方法を含めて検討していきたい。

(保険年金課)

○その他の質問項目

「生活保護行政について」

**観光政策について その二**

大嶋 和 浩 議員

**問**

本市の観光政策を推進するため、①外部の専門家が必要では②観光ガイドにバス路線を掲載してはどうか③駅周辺の案内標示は十分か④市街地観光コースの整備⑤妻沼中心市街地の整備について、それぞれ伺いたい。



# 答

①本市の状況や潜在力に重要なことと考えており、機会をとらえて実施できるよう努める。②パンフレットを作成する際に分かりやすく表記していききたい。③現在は必ずしも正確に反映されているとは言えない。今年度、駅周辺の観光案内板の整備を計画しており、JR熊谷駅と調整を図りながら進めていく。④熊谷駅に設置を予定している観光案内板等により周知していきたい。⑤聖天山を観光の中核施設と位置付け、地元商工団体等の意見も伺いながら検討していく。

（商業観光課）  
○その他の質問項目  
「行財政改革についてその三」  
ほか



改修が進む歓喜院聖天堂の彫刻

## 熊谷の子どもたちの教育について

富岡 信吾 議員

### 問

本市における①校内暴力防止の取り組み②家庭教育学級等の推進③学校現場の負担軽減④学校経営方針⑤地域との連携⑥図書室の充実⑦体力向上の充実について、それぞれ伺いたい

### 答

①一般社会で許されないことは学校でも許されないことを粘り強く指導している。②「親学講座」や「家庭教育学級」を実施している。③教育委員会からの各種調査の削減、給食補助員の配置等により軽減を図っている。④熊谷教育の指針と施策に基づき学校経営に当たるよう指導している。⑤校長が公民館や子ども会の行事等に参加し、地域と一体となった教育を推進している。⑥平成十八年に定めた「子ども読書活動推進計画」にしたがい、市立図書館や学校図書館との連携のもと、充実したものになっている。⑦体力向上目標値を設定させ、真に運動好きの児童生徒の育成に努めている。

○その他の質問項目  
(学校教育課)

## 福祉行政について

「スポーツ環境の整備・スポーツ振興の取組について」

谷 幸代 議員

### 問

①認知症を原因として発生する悲惨な事件に對して、市はどのような防止策を考えているのか。また、②本市の認知症高齢者数とその対策③本市の認知症サポート数とその養成状況④キャラバンメイトの人数について、それぞれ伺いたい。

### 答

①介護を家族だけで抱え込まず、さまざまなサービスを利用することで介護の負担を軽減し、家族を地域で孤立させない地域づくりが必要と考えている。②本年五月末現在で約三千百人である。昨年立ち上げた要援護高齢者支援ネットワークを活用し、認知症の早期発見とともに迅速かつ適切な支援を行っていききたい。③本年三月末現在、百九十三人のサポーターがいるが、今後も機会をとらえて養成講座の開催を支援していきたい。④本市では二人が登録されている。

○その他の質問項目  
(長寿いきがい課)

## 「市民相談の中から」ほか コンパクトシティ 実現に向けて

加藤 恒男 議員

### 問

①観光協会を市から分離し、市内に観光案内所として開設する考えは②教育委員会が所管する事務のうち、スポーツ・生涯学習の事務を市長部局に移管させる考えは、それぞれ伺いたい。

### 答

①まちなかに観光協会との事務所を設置することは、観光事業に専念し、一層の情報発信や観光客の受け入れ態勢の充実を図ることができるとともに、賑わいの創出や活性化にも効果があると考えられる。しかし、運営主体や運営方法等について課題があるため、他市の先進事例も参考にしながら検討を重ねていく。②本年四月の法改正を受け検討したが、支障なく各種事業を推進している状況等もあり、当面現行のとおりと判断した。しかしながら、他のまちづくり事業と一体となった事業展開を図ることで相乗的な効果が期待できると考えられるので、引き続き検討していく。

○その他の質問項目  
(商業観光課)

## 荒川河川敷駐車場門の 開閉について

磯崎 修 議員

### 問

①この門の開閉はなぜ必要なのか②文化センター等の利用者の車があっても時刻になると閉鎖してしまうのか、それぞれ伺いたい。

### 答

①平成十年の台風により前橋市内の河川敷駐車場から車両が流出する事故が発生したため、国土交通省から河川敷を占有する各自治体に、駐車車両の流出防止対策について実施要請があった。このため、通勤者等、荒川緑地利用者以外の利用を規制するため実施している。②門の開閉時間は、荒川緑地の貸出時間にあわせ午前八時三十分



荒川河川敷駐車場門



から午後五時三十分になって  
いる。なお、緊急時のために、  
連絡先および退出経路を表示  
する案内板を設置している。  
今後は、より分かりやすい案  
内表示が可能か国土交通省と  
協議していく。  
(公園緑地課)

○その他の質問項目  
「小・中学校トイレの洋式化  
とウォシュレットについて」

**特殊勤務手当の  
改廃について**

田 島 道 夫 議員  
問 ①特殊勤務手当の種類  
および支給総額、対象  
者数は②特殊勤務手当の支給  
要件に照らして、その支給根  
拠が希薄であり、疑問を持つ  
ものが多いが、熊谷市集中改  
革プランにおける取り組み状  
況および見直しの方針について  
それぞれ伺いたい。

答 ①現在、税務事務手当  
やし尿処理作業手当等、  
二十二種類あり、支給総額は  
平成十八年度決算額で約六千  
三百万円、支給人数は本年四  
月末で八百六人である。②保  
健師業務手当や建設技術手当  
等、給料にその特殊性が考慮  
されている、またはその職務  
が本来の職務であって、特殊

勤務手当を支給すべき特殊性  
が認められないものを優先し  
て廃止すべく職員団体と協議  
している。その他の手当につ  
いても、特殊勤務手当の趣旨  
に見合うものであるか否かを  
再度検討し、集中改革プラン  
に基づき、廃止を含めゼロペ  
ースで見直していく考えである。  
(職員課)

**企業立地促進について**

滝 沢 肇 議員  
問 本市における企業立地  
の促進について、取り  
組み状況を伺いたい。

答 本市では、平成十八年  
に産業立地促進条例を  
施行し、市内工業団地等へ積  
極的に企業誘致を推進してき  
た。また、昨年十二月には企  
業立地促進法に基づく県北ゾ  
ーンの基本計画が国の同意を  
得たことにより、指定業種で  
ある自動車および食品関連企  
業への誘致が今後促進される  
ものと考えている。そこで、  
企業誘致の受け皿となる新た  
な産業用地の創出を目的に産  
業基盤整備室を新設し、庁内  
体制の強化を図っている。今  
後も、埼玉県が持つ豊富な情  
報や指導をいただきながら、

関係機関と一層の連携を図る  
とともに、本市の持つ魅力を  
企業にPRし、積極的に企業  
誘致に取り組んでいきたい。  
(産業振興課)

○その他の質問項目  
「カーボン・マイナス事業に  
ついて」ほか

**観光行政について**

栗 原 健 昇 議員  
問 ①本市がこれから力を  
入れていくべき観光行  
政について、その目玉となる  
ものは②観光行政を進めてい  
くうえでネックとなるものは  
それぞれ伺いたい。

答 ①うちわ祭やさくら祭  
花火大会等、古くから  
の伝統を受け継ぎ、その魅力



を守り、発展させることで多  
くの観光客にお出でいただい  
ているものと認識している。  
こうした伝統の重みは本市の  
観光行政を進めるうえで大き  
なよりどころとなっている。

②合併を機に多くの観光資源  
が加わったが、必ずしもこれ  
らが相互に連携し有効活用さ  
れているとはいえない状況に  
ある。過日放映されたテレビ  
番組「アド街ック天国」では、  
妻沼地域の野菜や聖天山、ホ  
ルモン焼等、本市の新たな可  
能性を取り上げていたが、こ  
うした外からの視点を反映さ  
せていくとともに、四季折々  
の魅力を生かした観光施策の  
充実に取り組んでいきたい。  
(商業観光課)

○その他の質問項目  
「暑さに負けない都市連合を  
設立して、頑張る熊谷を更に  
アピールしたらいかがか」

**パブリック・コメントに  
ついて**

松 本 富 男 議員  
問 ①これまでどのような  
政策に実施したか②市  
民への周知方法は③意見募集  
期間は④より多くの意見を募  
集するための工夫は、それぞ  
れ伺いたい。

答 ①本制度の実施により  
政策形成過程における  
公正の確保と透明性の向上が  
図られるとともに、市民の市  
政への参画を一層推進するこ  
とが可能になる。これまで市  
民憲章の制定等に際し、八本  
で実施した。②市報やホーム  
ページでPRするとともに、  
計画案等を多くの場所で見  
ることができるようにしている。  
③お  
おむね一カ月の目安で設けて  
いる。④ホームページでの検  
索がしやすいようトップペー  
ジに意見公募手続のボタンを  
設け、目に付きやすいような  
工夫をしているが、多くの意  
見がいただけるよう今後も効  
果的な周知方法を研究してい  
く。  
(企画課)

○その他の質問項目  
「人口減少時代の都市経営に  
ついて」ほか

**みんなで止めよう温暖化**  
チーム・マイナス6%

「チーム・マイナス6%」では、温室  
効果ガス削減のためのアクションプ  
ランを設定しています。  
○水道の使い方減らそう！  
水道水の送水にはたくさんの電気が使  
われているので、節水のための工夫を  
しよう。

### 可決された主な議案

◇特例市の指定に係る申出について

特例市への移行に必要な法的手続きとして、特例市の指定を総務大臣に申し出るものです。

◇熊谷市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、寄附金税額控除、公的年金からの特別徴収制度および上場株式等に係る配当所得に係る市民税の課税の特例の新設等を行うものです。

◇人権擁護委員候補者の推薦に同意

島田 道郎氏  
馬場 員夫氏

### 請願の審査結果

六月定例会では、次の請願を審査しました。

◇国に対して後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書の提出を求める請願  
(審査結果・不採択)

◇ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願  
(審査結果・採択)

### 関係機関に意見書を提出

六月定例会では、次の内容の意見書を委員会提出議案として上程し、原案どおり可決しました。なお、可決した意見書は、関係機関に提出されました。

◇ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書

### 委員会での主な質疑

#### 総務文教常任委員会

特例市の指定に係る申出について

**問** 本市が特例市に指定されることに對して、市民の方々の関心が薄いように思われる。今後は、いろいろなPRが必要と考えるが、見解を伺いたい。

**答** 特例市に関する特集記事を六月からホームページに掲載しているが、今後とも市報やホームページ等を通じて、市民の皆様へ周知するため、さらにPRを図ってきたい。

(所管課・企画課)

#### 福祉環境常任委員会

熊谷市ホームヘルプサービス条例の一部を改正する条例について

**問** 障害者自立支援法の制度と、この熊谷市ホームヘルプサービス条例の制度には、利用者にとつてどのような差異があるのか。

**答** 障害者自立支援法では、利用料金の一部が個人負担になる。例えば、一時間当たり千五百円のサービスをを受けた場合に、百五十円が利用者の負担となる。それに対して熊谷市ホームヘルプサービス条例では、利用者世帯の所得階層区分による段階的な負担額になっている。

(所管課・障害福祉課)

#### 市民産業常任委員会

財産の取得について

(消防ポンプ自動車)

**問** 昨年度も消防ポンプ自動車を四台取得したが、今回の車両は同型のものなのか。

**答** 昨年度、分団用として取得した車両と同型だが、今回、常備車両として配置するため、特殊な薬剤と混合することにより少量の水で

大きな消火効力が得られる「泡消火システム」や、六百リットルの容量がある水槽など特殊な装備を搭載している。  
(所管課・警防課)



消防ポンプ自動車

#### 都市建設常任委員会

市道路線の認定について

**問** 市道路線の認定は、これまで旧市町それぞれの基準で行われてきたが、整合性を図るため、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 過去の経緯等があるため、直ちに完全な統一化は困難と考えている。しかし、一つの市に複数のルールがあつてはならないので、市の要綱に基づき適正に統一を図られるよう努めていきたい。

(所管課・管理課)

### 会議録の閲覧について

市議会では、本会議の様態を記録した会議録を作成しています。

6月定例会の会議録は、議会事務局、市役所情報公開コーナー、行政センター、図書館、市議会ホームページなどで9月上旬から閲覧できます。

詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

### 編集だより

ここに、市議会だより第十二号をお届けいたします。本号では、一般質問の要旨をはじめとする六月定例会の概要等を紹介しました。

これからも市民の皆さんと市議会を結び紙面づくりを目指してまいりますので、お気づきの点がありましたら、ご意見等をお寄せください。

#### 議会報編集委員

- ◎泉 二良 ○松本貢市郎
- 加賀崎千秋 笠原 秀雄
- 山田 忠之 林 真佐子
- 並木 正一 三浦 和一
- 加藤 恒男
- (◎委員長 ○副委員長)

